

スポーツ団体における女性スポーツの普及・推進に向けた取り組みと活動実態に関する研究報告 —滋賀県スポーツ団体に着目して—

佐藤 馨¹⁾

Research Regarding an Approach to the Promotion Campaign for Women's Sport and the Current Situation in Japan: A Case study of Shiga Sport Associations

Kei Sato

Key words : promotion, women, sports, leadership

1. 研究の目的

本研究は、様々なスポーツ団体における女性スポーツの普及・推進活動への取り組みと実際の活動状況を調査し、日本オリンピック委員会 (JOC) による全国調査結果等と比較することにより、その取り組みを検討・評価することを目的とする。

2. 研究方法

- 1) 調査対象：滋賀県下約50のスポーツ団体
- 2) 調査方法：滋賀県体育協会を介し、各スポーツ団体に調査票の配布・回収を実施
- 3) 調査期間：2007年10月12日～26日
- 4) 回収率：52.9%

3. 結果および考察

1) スポーツ団体における女性の比率

(1) 競技者・団体数における女性の比率

滋賀県のスポーツ団体における競技者および団体の女性比率をみると、競技者は35.3%、団体・チームは29.9%であった(図1)。一方、JOCの調査によれば(図2)、競技者は31%、団体・チームは72%であり、滋賀県では競技者における女性の比率は全国平均を上回ったものの、団体数は大幅に少なかった。

(2) 指導者・審判における女性の比率

滋賀県において女性指導者・審判の占める割合は、指導者が13.3%、審判が8.2%であった。これを全国調査でみると、指導者が21.8%、審判が19.1%であった(図1, 2)。滋賀県のスポーツ団体で

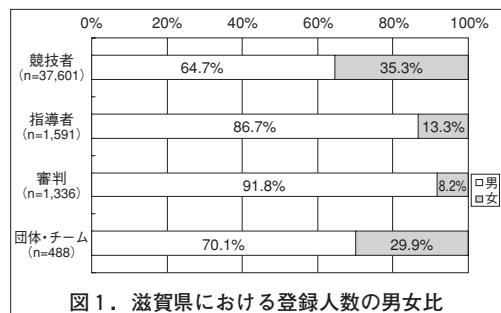


図1. 滋賀県における登録人数の男女比

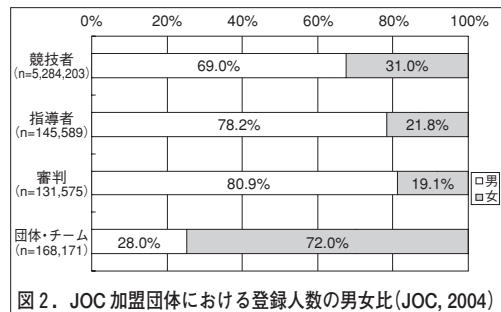


図2. JOC加盟団体における登録人数の男女比(JOC, 2004)

は、競技の普及・推進に直接関わる指導者や審判において女性の比率が全国平均を下回っており、今後、早急に指導者や審判の育成が必要になるであろう。

(3) スポーツ団体における役員の女性の比率

滋賀県のスポーツ団体における女性役員の比率は10.5%であり、一方、全国調査における女性役員の比率は5.7%であった(図3, 4)。滋賀県のスポーツ団体における女性役員の比率は、全国平均

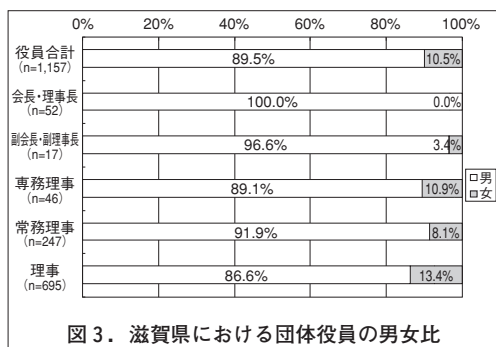


図3. 滋賀県における団体役員の男女比

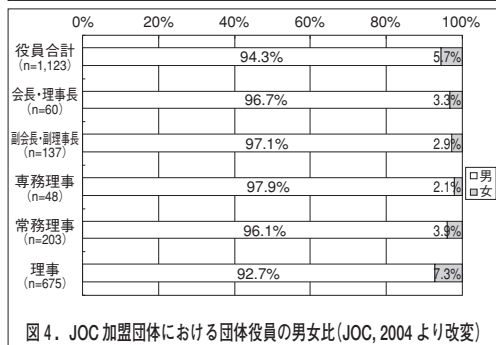


図4. JOC加盟団体における団体役員の男女比(JOC, 2004より改変)

よりも若干高いことが分かった。

2) 女性スポーツに関する取り組み

(1) 内部委員会の設置状況

滋賀県のスポーツ団体において最も設置率の高い委員会は「普及」の62.9%、以下「競技力」51.4%、「審判」51.4%、「指導者」45.7%であった(図5, 6)。一方、全国調査では「普及」の74.6%、以下「審判」72.9%、「競技力」69.5%であった。滋賀県における各委員会の設置率の低さは、団体規模に起因すると考えられる。また、女性スポーツに関する課題に取り組む場として女性委員会があるが、滋賀県では20%、全国では20.3%と特に違いはなかった。今後、女性スポーツ全般の問題に取り組むためには、女性委員会の設置率を押し上げることが重要であろう。

(2) 女性スポーツに関する課題

女性スポーツに関して、各団体どのような取り組みを行っているのか見ると、滋賀県では検討を要する課題として上位に位置したのが「セクシャルハラスメント防止の整備・普及 (37.8%)」「女性とスポーツに関する他団体とのネットワーク・情報交換 (37.8%)」「練習施設、大会会場における託児所の整備・充実 (37.8%)」であった。一方、全国調査では「女性とスポーツに関する研究への支援・助成 (42.4%)」であった。以上の結果から、滋賀県において女性スポーツに関する課題解決には、団体統括組織によるネットワークづく

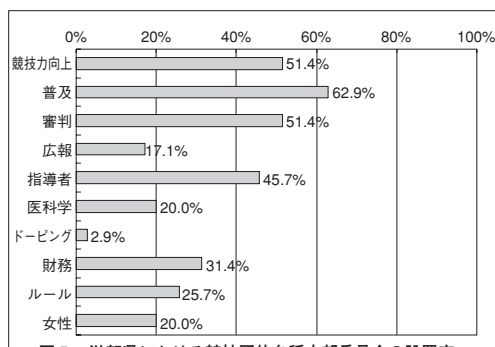


図5. 滋賀県における競技団体各種内部委員会の設置率 (n=37)

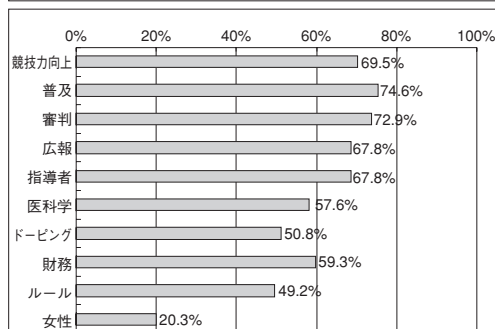


図6. JOC加盟団体における競技団体各種内部委員会の設置率 (JOC, 2004より改変) (n=37)

りや情報発信が必要であると思われる。

4. まとめ

本研究は、滋賀県における女性スポーツの普及・推進活動への取り組みと実際の活動状況を調査し、JOCによる全国調査結果等と比較することでその取り組みと検討・評価した。結果は以下の通りであった。

- 1) 滋賀県のスポーツ団体では、女性役員の比率が全国平均よりも高く、女性の登用に積極的であることが分かった。
- 2) 女性指導者・審判は、全国平均を下回っており、今後、女性指導者・審判の増員を図り、こうした女性達を人々が日常的に目にする機会を増やすことが重要である。
- 3) 女性スポーツの普及・推進するためには、各スポーツ団体の努力だけでなく、団体統括組織からの情報提供や団体間のネットワークづくりが重要になると考える。このことが国内外を問わず女性スポーツへの取り組みに関する情報を共有できる契機となり、スポーツ界全体で女性スポーツの普及に貢献できるのではないだろうか。

引用文献

- (財) 日本オリンピック委員会女性スポーツ委員会 (2004). スポーツ団体の女性スポーツへの取り組みに関するアンケート調査. pp.1-30.